

若楠かわら版

社会福祉法人 若楠
療育医療センター 若楠療育園
若楠児童発達支援センター



〒841-0005

佐賀県鳥栖市弥生が丘 2 丁目 134 番地 1

Tel 0942-83-1121

Fax 0942-83-1755

追悼 横尾 英彦 会長（社会福祉法人 若楠 創業者）

令和6年7月29日、横尾英彦会長がご逝去されました。90歳のお誕生日を目前にされてのことでした。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

2年前、米寿のお祝いの際に頂いた湯呑は、職人さんが一品一品ろくろで成形し、釉薬の代わりに塩を使う『塩釉』の技法で心を込めて作ったお品でした。

「心から感謝をお伝えしたい」と多くの窯元を見て回り決められたと伺いました。

会長は、いつも「感謝の心」を大切にされる方でした。

若楠療育園も数多くの方のご理解とご協力で作ることが出来たと、常日頃から感謝を言葉にされておられました。設立当時の障害者福祉は、社会の隅っこで行われていた時代。後に当時を次のように振り返っておられます。「顧みますと、重症心身障害児に光があてられたのが昭和42年。その前後から各地に民間の施設が創設され、国立療養所には重心病棟が設けられました。その重心病棟に娘を預け、父母の会役員を務めさせて頂いているうちに、この子どもたちが成人した時のことを考えるようになりました。娘と幾人かの子どもさんを家にあずかって、親身にお世話をしてくださる方に来て頂こうと思っていたところ、話は施設を作るということにまで発展していきました。そして、賛同してくださる方々が現れ、勉強会や視察を重ねていく中で構想が組み立てられ、佐賀で開催された国体の名称も頂き、そうして児童福祉施設の枠内で、成人も受け入れられる施設としての第一歩を踏み出すことが出来ました。開園に至るまでの数年間は、私の一生の中で最も貴重な時間だったように思えてなりません。一介の企業人として生きてきた私の心を開かせ、娘と同じ障害を持つ人達に目をむかせてくれた娘と、施設創立の願いを実現にまで導いてくださった多くの皆様に対して感謝で胸が熱くなる思いが致します。」（「創立十周年記念誌」より一部抜粋）

会長が表された施設づくりの思い「若楠の基本理念」。「利用者中心主義」は、利用者を中心に家族、職員、地域の皆さんが幸せになりましょう。「開かれた施設」は、地域の皆さんに役立つ施設でありたい。

そして、「若楠ファミリー」。利用者を中心に家族と職員が、互いを思いやり手をたずさえて利用者を支えていく大家族主義。利用者が一生安心して生活ができる施設は家庭的なものでありたい。それには、利用者を支える、家族と職員がお互いを信頼しあえる関係でなければならない。中でも大切にされたのが「笑顔」。

若楠に来られた際には利用者にも笑顔で声をかけられ、職員にも「ご苦労さん、いつも有り難う」と労いの声をかけて頂くと、途端に周りが明るくなるのを感じました。娘さんの面会の後には、ご機嫌が良い日も斜めの日も「娘は皆さんに良くして頂いて本当に幸せだよ」と話されていました。職員が利用者へ出来ることを精一杯して差し上げると、利用者からは笑顔が返ってくる。その笑顔を見て職員は嬉しくなって笑顔を返す。

「笑顔」は幸せのひとつの形ですが、会長は自ら率先して私たちにあるべき姿を見せてくださいました。

教えて頂いた福祉の心、おもてなしの心、そして若楠を築きあげられてきたその心を受け継ぎ、私たちは歩んで参ります。横尾英彦会長、本当にありがとうございました。（社会福祉法人 若楠 理事長 前田 博敏）





入所支援部

夏祭り

生活棟内で夏祭りを開催しました。
「魚釣りゲーム」のブースでは、目の前の大海に色んな魚やイカの姿が。
釣り竿を握りしめたらいざ勝負！ みなさん笑顔で釣りあげられていました。



かき氷



「かき氷ブース」では様々なシロップから好きな味を選んでいただきました。

カラフルなかき氷を楽しまれる方。食べると冷たそうな表情をされる方。皆さんそれぞれの感じ方で「夏」を楽しんでおられました。



児童発達支援・放課後等デイサービス（重心クラス）

7月の活動は「夏を楽しもう!」。「魚釣りゲーム」と「輪投げ」をしました。「魚釣りゲーム」では、釣竿を上手に動かして魚を釣り上げました。見た目や形をよく見て考え、「ふぐ」「カレイ」「いか」など、自分が釣り上げた魚の名前を発表してもらいました。

「輪投げ」では、マットに並べたいろいろな野菜に輪を投げて取り、その野菜が夏野菜かどうか考えました。今はハウス栽培で年中食べられる野菜が増えていますが、「実は夏野菜だったんだね～」とお勉強にもなった活動でした。



生活介護事業

今年も恒例の夏祭りを開催し、「ヨーヨー釣り」「輪投げ」「射的」などの様々なゲームを行いました。

夏祭り会場では、期待に満ち溢れた表情で屋台を見て回りながらゲームを楽しみ、結果のよし悪しにかかわらず、夏祭りの雰囲気を楽しんでいました。

夏祭りが終わった後も、景品の玩具やお面を手に、満足そうに余韻を楽しんでおられるようでした。



つみき便り（児童発達支援事業）

水鉄砲

：トイレトペーパーに貼ったカードの的を狙って…！



ターゲットゲーム

：点数めがけてシュート！



ミニ「夏祭り」では、5種類のゲーム(水鉄砲、ストラックアウト、魚釣り、ボウリング、ターゲットゲーム)を設置。

子どもが自分でゲームを回りました。

ゲームの中では身体を動かしながらボールや道具の操作も学び、楽しんでいるようでした。

1353

よーいどん便り（放課後等デイサービス事業）



おいしくて冷たい～



🍓味のシャーベット完成！

暑い夏にひんやり！シャーベット作りをしました。

役割を友だちと話し合いをして決めた後、「役割表」を見ながら自分の仕事を確認して進めました。

ジュースが固まる様子の変化を楽しんだ後は、完成したシャーベットをみんなでおいしく食べました。

栄養課

七夕 7/7



- ・サラダそうめん(レモン汁入り特製)
;ハム・トマト・レタス・胡瓜・玉葱
- ・なすの揚げびたし
- ・七夕ゼリー



どれもさっぱりとした味付けで、夏の季節にぴったりのメニューをご用意しました。

どの食事形態もきれいに盛り付けて、皆さんにとっても喜んで頂きました☆

納豆の日 7/10



朝食にてご提供しました。
今年も天野食品様(鹿島市)より沢山の納豆を寄贈していただきました。
ありがとうございました。



【編集を終えて】

9月10日、「横尾英彦会長のお別れの会」を株式会社ヨコオとの共催で執り行いました。(於 ホテルビアントス)

荘厳な祭壇には、どんぐり村の緑の中で温かい笑顔を向けられる横尾英彦会長のお写真。沢山の方々が純白のカーネーションを献花され在りし日のお姿を偲ばれました。



展示エリアには、数々の表彰状や思い出の品々、お写真。
また、「若楠療育園開設当時の新聞記事」、「株式会社ヨコオ経営者としての功績」などのパネルも。
会長が成しとげられてきたことの大きさが物語られていました。
それらにちなんだ映像も放映され、精悍なお姿や優しい笑顔に胸を熱くし目を潤ませる方々、思い出話をされながらゆっくり過ごされる方々のお姿が、沢山の方との交流を大切にされてきたことを感じさせました。

横尾会長、私たちに教えて下さった『心のあり方』をいつまでもいつまでも伝えていくことができるように、私たちはこれからも歩んでまいります。

どんな言葉でも言い尽くせませんが、本当にありがとうございました。

ゆっくりとお休みください。

(事務長 新貝 恵美)